



ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

https://www.it-chiba.ac.jp/

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 中村さんアンテナ国際会議で最優秀賞...
3面 野村助教に「繁田賞」最高賞...
4面 4年ぶり文化会新年会/タウンキャンパス来場110万人突破...

瀬戸熊理事長を4選

新理事に南、染谷幸、小川氏 新評議員は3氏

理事会・理事評議会

本学理事会が12月12日、アルカディア市ヶ谷私学会館で開催された。任期満了に伴う理事と評議員の改選が行われ、新理事に南砂氏(読売新聞社役員)が選ばれた。また、新評議員には森忠彦氏(毎日新聞社)、大川茂樹氏(副学長・先進工学部未来ロボティクス学



役員一覧 table with columns: 役員職名, 氏名. Includes 理事長, 学長, 常務理事, 理事, 監事, 評議員.



務理事及び監事の選任が行われ、理事会では、満場一致で理事長に瀬戸熊修・現理事長が再任された。瀬戸熊理事長は2012(平成24)年に就任以来4期目。また、染谷明人氏が新たに常務理事(法人担当)に選任され、前田修作氏が常務理事(大学担当)に再任された。

「未来へ変革を追求」 瀬戸熊理事長
再任にあたり、瀬戸熊理事長は「本学が創立した1942年、我が国の出生数は220万人を超えていました。しかし、



B日程の試験(津田沼試験場で2月17日)

として12年間、経営安定化を柱にさまざまな改革に挑戦、邁進してきました。だが、引き続き、時代や社会ニーズに迅速に対応できる変革が求められるのは言うまでもありません。昨年7月に伊藤穰一学長が就任し、今年4月には未来の世界を情報でリードするために『情報変革科学部』『未来変革

併願が可能 受験料軽減
SB日程は、数学と国語の総合問題により評価する試験種で、昨年度より実施している。A日程+SA日程と同様、セツトで同時出願をすることで、B日程の受験料のみでSB日程も併願することが可能。B日程・SB日程は同日試験日に別時間で行われる。

17会場、18日には津田沼とサテライト試験場(水戸、宇都宮、高崎、大宮、横浜、東京)で実施された。
B日程志願者数は一方3743人(昨年比222人減)と昨年志願者を下回った。
このほか、大学入学共通テスト利用入学試験(中期II本学試験なし)の志願者数は7316人(昨年比555人減)となった。

A、B入試、無事に終了 一般選抜 全国2位キープ

A日程、SA日程入学試験が2月1~4日の4日間、津田沼試験場と全国の17試験会場(2月1、2、3日のみ)で実施された。天候不良や交

令和5年度 学位記授与式
至東京 JR京葉線 幕張メッセ 幕張イベントホール
幕張メッセ 幕張メッセ大駐車場
Zozoマリンスタジアム
令和5年度の学位記授与式は、3月22日(金)午後2時から、幕張メッセ・イベントホールで開催されます。

アンテナ国際会議で最優秀賞

中村さん ▼ 精密調整を実現

アンテナと電波伝送に関するベトナム・日本国際科学会議(JISAP) 2024年1月8〜10日、ハノイの電力大で開催。中村浩紀さん(情報通信システム工学専攻修士1年、長敬三研究室)が発表した「Microstrip antenna unit for beam steering」



antennas using dielectric constant control by liquid crystal (液晶による誘電率制御を用いたビームステアリングアンテナ用マイクロストリップユニット)が学生ポスター賞の最優秀賞を受賞した。中村さんは、ネマティック液晶(LC)を用いた指向性可変アンテナに使う素子構造を検討。アンテナユニットの下部に液晶層と誘電層で構成されたトリプレット伝送線路を搭載し、液晶誘電率

アルツハイマー病治療模索

赤城さん ▼ 学生優秀発表賞

日本ポリアミン学会の第14回年会(昨年12月22、23日、都内清瀬市の明治薬科大で開催)で、赤城紫音さん(生命科学専攻修士1年、南澤慶賢研究室)が「Alzheimer's disease mouse model of the polyamine metabolism」

モデルのポリアミン代謝プロファイル」を発表し、学生優秀発表賞を受賞した。南澤研では、アルツハイマー病(AD)を発症するマウスモデルを用いてADの原因究明と治療法を追究。日本において地球上最古の原種とされるユズ種子から抽出されるリモノイドを用いると、AD病態が抑制され



果を報告した。院生になって始めた研究で、先行事例がなく苦闘したという中村さん。「長先生のサポートや研究室の先輩に感謝の気持ちでいっぱいです。家族、友人に辛いこと楽しいこと、悩みを聞いてもらい一人では取れなかった賞です。精進し、より良い成果を生み出せるよう頑張りたい」と述べた。

赤城さんは、体内にリモノイドとアルギニン(成長を助けるアミノ酸)を存在させ、細胞内

銅融体と硫黄の関係数式化

伯山さん学生優秀講演賞 ▼ 銅学会

微小重力環境や電磁浮遊技術で物性・新材料を研究する小澤俊平研究室の伯山流星さん(先端材



学生優秀講演賞の受賞が決まった。銅融体の表面張力は、ろう付や鋳造などの高温融体プロセスの最適化に必要となるが、これまで代表的不純物である硫黄の影響と同時考慮したデータがなかった。伯山さんは銅融体の表面張力を、温度と硫黄量を同時にパラメータとして定量的に測定。その結果を熱力学的に考察し、表面張力、温度、硫黄量の関係を数値シミュレーションで使用できるよう数式化した。

受賞に伯山さんは「大変光栄です。小澤先生と研究室の皆様のご支援の賜物です。今後も、さらに多くの方々と協力しながら、研究に取り組みたいと思います」と感想を述べた。

MRI活用し調音運動予測

脇田さん学生優秀発表賞 ▼ 音響学会

日本音響学会の2023年秋季研究発表会(昨年9月26〜28日、名古屋市の名古屋工業大で開催)で、脇田真子さん(知能メディア工学専攻修士



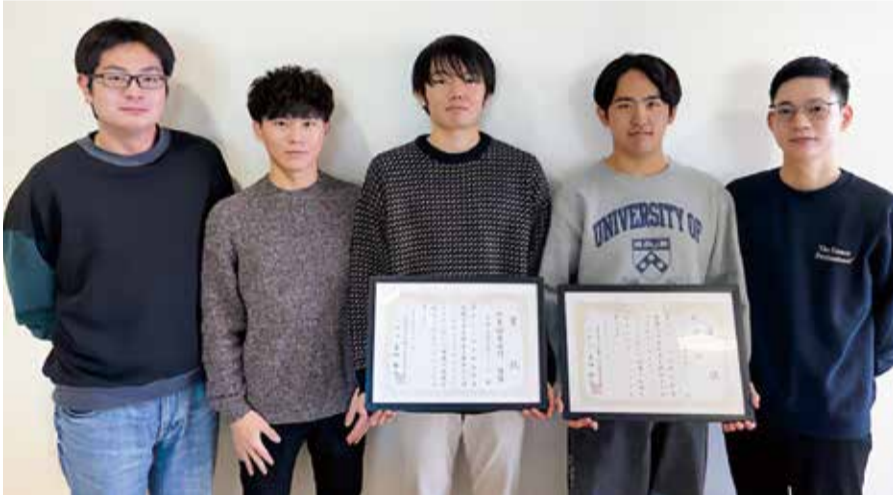
1年、竹本浩典研究室)が口頭発表した「言語特徴量から調音運動の予測」が学生優秀発表賞に選ばれた。3月に都内で贈呈式が行われる。竹本研では音声の人工生成や音響を解明。人は舌や口唇、下顎を動かして声道の形を変えて音声を発するが、どの言語でどう調音運動するのか。センサコイルを使う予測方法などが試されるが、調音器官全体の形状の予測はできていない。

脇田さんは「新たにMRI(磁気共鳴画像診断装置)を用いて調音運動のリアルタイム動画を撮像。機械学習させて調音

器官の輪郭を抽出した。これを基にDNN(脳の神経回路を模して深層学習させる方法)で、言語特徴量からフレームごとの調音器官の輪郭の予測を試みた。その結果、予測は実際の動きとよく一致した。先行研究がなく、予測精度の算出方法などいろいろ工夫し、納得感を得てもらえるよう意識したという。

脇田さんは「努力が実を結んでうれしい。竹本先生をはじめとした先生方、研究室の皆様、支えてくれる家族のおかげです。感謝を忘れずに努力していきたい」と語った。

(左から)加納さん、千蔵さん、須藤さん、高田さん、花咲さん



液状化対策コンテスト 部門優勝

本学5人チーム ▼ 地盤工学会関東支部大会

「液状化対策工」をテーマに開かれた地盤工学会関東支部主催の第16回ソイルストラクチャーコンテスト(昨年10月21日、日本大船橋キャンパスで開催)で、都市環境工学科・金田一広、橋本紳一郎研究室の院生・学部生チーム5人が総合(対策効果とプレゼンテーション)で準優勝、対策効果部門では優勝を飾った。

大会では、用意された地盤に各チームが、100均で200円分の材料を買い、さらに当日、運営側が与えるランダムな材料1つを使い、約5時間半で液状化対策を施した模型地盤を作り、模擬建築物を乗せて液状化対策効果を試した。

千葉工大は都市環境工学

「出場5人の感想」

加納さん 専門外の知識

専攻修士2年の加納龍斗さん、花咲魁人さん、都市環境工学科4年の須藤友輔さん、高田誠也さん、千蔵航太さんの5人がチームを作り、学生7、社会人3の計10チームで競った。対策効果部門ではキッチンスポンジ、鉢底ネット、針金で補強した地盤を作成。振動台での3段階の加振に対し圧倒的な沈下量の少なさで優勝した。

他大学から「千葉工大の対策は、なぜこんなに(建物の)沈下が少なかったのか」と不思議がられたという。しかし、プレゼンを加えた時点で関東学院大修士チームに越され、総合では準優勝となった。

千蔵さん 地盤沈下量の少なさに我々自身も驚き、対策法の理論性や施工効果の予測ができていた結果と分かった。メンバーの力を合わせることで解決できてよかった。

花咲さん 研究室での垣根を超えたチームで、それぞれが学んできた知識を生かし、対策効果部門で優勝することができてよかった。

須藤さん 社会人も参加したコンテストで好成績が残せ、時間をかけたかいがあったと思います。

高田さん 専門外で分らないことが多かったが、実験のたびに新しい発見があったり自分にはない視点を学べた。

野村助教に「繁田賞」最高賞

女性の喫煙リスク ▼ 禁煙学会で発表



野村助教

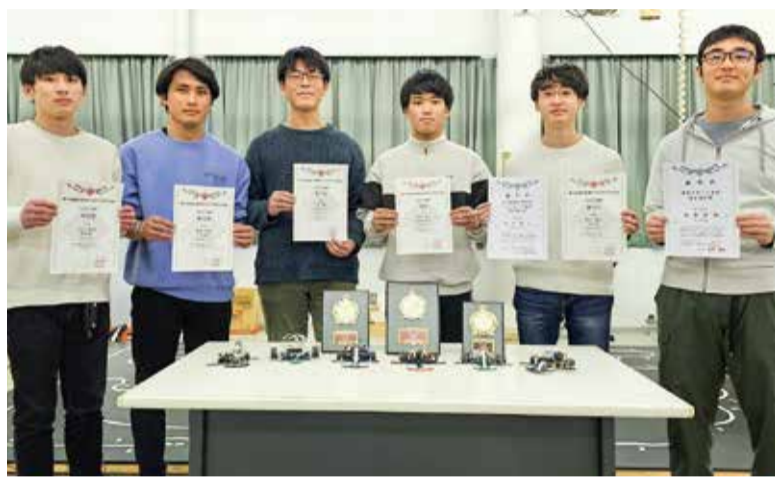
禁煙・受動喫煙防止を研究調査する日本禁煙学会は、2023年中に最も優れた研究成果を挙げたとして、創造工学部教育センターの野村由実助教に「繁田賞」を贈った。野村助教は「一名誉ある野村助教は一名誉ある」

野村助教は学会の学術総会（昨年10月28日、11月12日、オンライン開催）で「一周産期異常を合併した女性における喫煙リスク状態に対するリスク要因」を発表。ハイリスクの妊産婦の禁煙促進に向けて、早産・妊娠高血圧など周産期異常のあった女性らの喫煙のリスク要因を調査し、働いていること、朝食欠食や妊娠前の飲酒といった生活習慣と関連があることを明らかにした。

賞を頂き光栄に思いま。発表の際は多くの質問や意見が寄せられ、禁煙促進など妊娠・出産期の女性の健康への関心の高さを実感しました。今後も、母子の健康に寄与する活動を進めていきます」と感想を寄せた。

全日本学生・ロボットレース競技 野村さんV2、下鳥さん準V

出場6人が受賞 技術力光る



出場機を前にした6人。(左から)山口さん、麻生さん、下鳥さん、野村さん、井口さん、筒井さん

第38回全日本学生マイクス大会（昨年12月9、10日、神奈川県東京工芸大厚木キャンパスで開催）のロボットレースで、野村駿斗さん（未来ロボティクス学科4年）のロボットが参加35人中、4秒871で完走し昨年に続き2連覇、下鳥晴己さん（未来ロボティクス専攻修士2年）も昨年同様、準優勝した。井口颯人さん（同修士2年）のロボットは3位、筒井健翔さん（同学科2年）は4位に入賞。技術などを評価された山口裕士さん（同学科3年）、麻生英寿さん（同）は特別賞に選ばれた。

また、日本ロボット学会が贈る学生特別賞に筒井さん、計測自動制御学会が贈る優秀学生賞に井口さんが選ばれた。ロボットレース競技は、黒い走行面に白テープで引かれた直線や曲線を、手のひらサイズのロボットが初回走行（ライントレース）で学習。以降はロボットが自律処理し、直線で速度を上げたり力をつけて下がりたりしてタイムを縮める。人間は発進させるだけ。3分間で5回走行でき、レースの巧みさとタイムを競う。速度を上げ過ぎるとコースを外れるので、バランスが難しい。今年度はルール改定で、接地面を吸収して摩擦を増す装置が許され、速度が上がった。その吸引機構の開発や、走行時のパラメータ調整が技術力の見せ所。優勝した野村さんは「連覇を目指し新ロボットを製作してきました。先輩とどちらが優勝して

もわかしくない状況で優勝でき、とてもうれしかった。準優勝の下鳥さんは、タイでの国際学会から帰国した足で参加。吸引機構を搭載し高速化を実現したが「またも後輩の野村くんに負けた形。でもチームとしての戦力が上がっていると感じています」と喜ぶことにします。

ほか4人は、井口さん「6年に及ぶ学生生活の最後に全日本学生大会で表彰され、大変うれしく思います」▽筒井さん「入賞でき、とてもうれしかった。自分が設計した教育用マイコンボードを使って受賞でき、後輩にマイコンボードの可能性を示せたことがうれし」と語った。

就職・進路に関する情報をお届けします

【3年生・修士1年生向け支援】
3月1日に採用情報公開・エントリー受付開始となり、各企業の採用活動が本格化します。既に採用選考を進めている企業も多数ありますが、これから採用活動をスタートする企業も多数あります。またしっかり活動できていない学生は、これから活動量を増やすことが大切です。何をしたらいいかわからない、不安でなかなか進めないといった悩みがあれば、迷わず就職・進路支援部に相談ください。就職システムからの個人面談予約も可能です。

【4年生・修士2年生向け支援】
卒業論文・修士論文発表が終了し、就活を再開する学生も多いのではないのでしょうか。3月も、千葉工大生積極採用の企業と直接出会う「企業サポート体制などについてもお伝えする予定です。全学年対象のセミナーなので、保護者の皆様もぜひ気軽にご参加ください。参加URLなどの詳細は決定次第、メール配信でお知らせします。▼WEBセミナー日程：3月26日（火）13時から1時間程度

【イベント日程：3月6日（水）、3月11日（月）】
※4年生及び修士2年生で、既に就職や進学などの卒業後進路が確定している学生は、速やかに就職システムで進路報告の登録をお願いします。登録が確認できない場合、卒業後でも個別連絡をさせていただきます。

企業の採用活動が本格化

【3年生・修士1年生向け支援】
3月1日に採用情報公開・エントリー受付開始となり、各企業の採用活動が本格化します。既に採用選考を進めている企業も多数ありますが、これから採用活動をスタートする企業も多数あります。またしっかり活動できていない学生は、これから活動量を増やすことが大切です。何をしたらいいかわからない、不安でなかなか進めないといった悩みがあれば、迷わず就職・進路支援部に相談ください。就職システムからの個人面談予約も可能です。

菊池教授 機械学会フェローに

蝶型ロボ ▼ 総会運営で功績



日本機械学会は2月7日、未来ロボティクス学科の菊池耕生教授（専門

・生物模倣型移動ロボットなど）に写真IIを、学会を代表するにふさわしい技術者としてフェローに認定し、フェロー章の純銀バッジを贈った。菊池教授はロボットの

動きを生物に学び、繊細な構造で重さ0.5gの蝶型はばたきロボット、ゲンゴロウから着想した水空両用移動ロボットなどで知られる。一方で大深度地下掘削や食事を

援のロボも。2019年には本学津田沼キャンパスで開催した学会関東支部総会の実行委員長を務めた。菊池教授は当時を振り返り「大会委員長の佐野

正利教授（同学会フェロー）をはじめ半年間、機械工学科、機械電子創成工学科、未来ロボティクス学科の学生・先生方に協力いただきました。会場運営などで就職、施設、教務、学部事務、食堂の皆様まで巻き込みましたが、大成功を収めることができました。改めて心よりの感謝します」と感想を寄せた。

学内合同企業説明会（3月開催分）

日程	参加予定企業の一部	開催方法
3月6日(水)	山九、日本ドライケミカル、テクノ菱和、大成ロテック、富士古河E&C、大豊建設、株木建設、スウェーデンハウス 他	OL
3月7日(木)	ヨネックス、日本マイクロニクス、米屋、信越ポリマー、東京鋼鐵、高周波熱錬、ニテックコンポーネンツ、三洋工業 他	OL
3月8日(金)	Sky、市川市農業協同組合、ユアサ・フナシヨク、東邦ホールディングス、キャノンプロダクションプリンティングシステムズ、ジャステック 他	OL
3月12日(火)	日立パワーソリューションズ、クボタ、アルプスアルパイン、日鉄SGワイヤ、稲葉製作所、オリジン、タカノフーズ、トーモク、大和製罐、沖電線 他	対
3月13日(水)	デジタルガレージ、三井E&Sシステム技研、アクモス、クロスキャット、日本コンピュータシステム、DTS 他	対
3月14日(木)	東日本旅客鉄道、東武鉄道、ジャパンエレベーターサービス、千葉信用金庫、東京エレクトロニクスデバイス 他	対

対象：学部3年生、修士1年生
予約：就職システムの支援行事予約
★午前・午後、各回15社程度が参加予定。参加企業詳細や実施場所・時間等は、就職システム及びメール配信をご確認ください。
★リクルートスーツ着用(推奨)・私服可
★開催方法：対⇒学内対面 / OL⇒オンライン

4年ぶり！新年会

文化会 ▼ 理事長らと懇談、4部が実演



瀬戸熊理事長(左)と懇談

コロナ禍で実施できなかった「文化会新年会」が1月16日、4年ぶりに津田沼キャンパス2号館3階大教室で開かれた。瀬戸熊理事長をはじめ学生委員会・各クラブの顧問を務める教職員、教員センター学生担当職員らが参加し、学生たちと盛大に新年を祝った。

開催次第の引継ぎは最低限しか残っておらず、役員らは試行錯誤。開会のあいさつで新年度文化会会長の鈴木蒼太さん(先端材料工学科3年)は「ようやくコロナ禍が明け、活動が活発にできるようになりました」と



電気研究部の無線実演



天文研究部の星空解説



「飛翔」の目標を掲げて



ギタークラブの演奏

昨年までを振り返り、「日ごろの学生の活動に対し、温かいご支援をいただき感謝しています」とお礼の言葉を述べた。

瀬戸熊理事長は

「久しぶりに学生たちの明るい笑顔に出会えましたね。このあと、研究成果や、次年度企画などの報告を楽しみにしています。各クラブと懇談する

よいチャンスなので、楽しい時間を過ごしましょう」とあいさつした。

懇談会では、各クラブが一堂に会し、年度末に盛り上がった大学祭や各サークル活動、次年度はどんな企画を立てようか……など、会場のあちこちで話が弾んだ。

スカイツリータウンキャンパス 来場 110万人超す

東京スカイツリータウンキャンパス(都内墨田区押上・東京スカイツリータウン8階)の総来場者数が2月4日、110万人を突破した。

目に訪れたのは、東京都江東区の宮本さん家族で、今春小学生になる男の子と父親。来場を祝して、小惑星探査機「はやぶさ2」の模型キットとオ

リジナルチバニーグッズの記念品が贈呈された。宮本さん一家は、今回がキャンパスへ2度目の訪問。「110万人目」人にクリアファイルが贈られた。

と聞いて、「こんなにたくさんの方が訪れているなんて」。会場に展示中の「はやぶさ2」の実物大模型の大きさに圧倒されながら、その模型キットを贈られ喜んでいました。

当日は、その後の来場者にも110万人目到達記念として、先着100人にクリアファイルが贈られた。

「竹あかり」が、昨年12月から、日本で唯一料理の神様を祀る高家神社(南房総市千倉町南朝夷、高木幹人宮司)で催されている写真展。令和元年から毎年続く行事で、竹灯籠を参道や境内に設置、夜の神社を幻想的にライトアップする。地域創生を手掛けるプ

ロジエクトマネジメント(PM)学科・加藤和彦

興味深い体験ができた。他にも使える場面がないか考えてみた話している。

そんな気分を吹っ飛ば

高家神社に竹あかり PM加藤研 ▼ 今年も協力



竹灯籠で境内を灯す「竹あかり」が、昨年12月から、日本で唯一料理の神様を祀る高家神社(南房総市千倉町南朝夷、高木幹人宮司)で催されている写真展。令和元年から毎年続く行事で、竹灯籠を参道や境内に設置、夜の神社を幻想的にライトアップする。地域創生を手掛けるプ

PM加藤研

今年も協力

加藤研からはボランティアとして4年生の池田暁音さん、岩本かやのさん、橋本匠矢さん、松井利緒さん、渡邊隼人さんが参加。池田さんは「初参加ですが、竹の新たな可能性を見出し、とても

研究室がバックアップし12月8日、「南房総学」の一環として千倉中学校3年生75人の「竹あかり」制作を指導。青木秀幸非常勤講師が「高家学ぼう会部会」の人たちと、竹の表面を削って飾りをするなどして生徒らの作業を手伝い、約100個の竹灯籠が完成した。

作った灯籠は参道の両脇に取り付け、鳥居型オブジェも改装されて、本殿周囲の樹木に灯りが広く届くようになり、柔らかな光の世界が広がった。

加藤研からはボランティアとして4年生の池田暁音さん、岩本かやのさん、橋本匠矢さん、松井利緒さん、渡邊隼人さんが参加。池田さんは「初参加ですが、竹の新たな可能性を見出し、とても

興味深い体験ができた。他にも使える場面がないか考えてみた話している。

クラブは、プロ級の演奏テクニックで聴かせ、参加者たちは感情豊かな表現に拍手した。トリを務めた吹奏楽部は「とんりのトトロ・メドレー」などを披露。楽しい演奏に会場も華やかなりし。発表を締めくくった。会の終盤、鈴木会長は

新年の抱負を「飛翔」の言葉に託してあいさつ。令和6年度の文化会活動が、辰年に「昇り龍のよう」に大きく成長できるように、と思いを語った。「今回、瀬戸熊理事長とお話するという貴重な経験ができました。かなり緊張しましたが

(笑)。理事長の『人の力が大事』という言葉が印象に残っています。人と人のつながりがある、自分もこの場に立てている。受け取った力を(次の人に)つなげる努力をしたいと思います」と述べた。

同窓会

咲くやこの花とは、百人一首にも登場する有名な歌ですが、ここに出てくる「この花」とは梅の花のことだそうです。

2月に入り、津田沼キャンパスの池の脇にある梅の木にも小さな花が咲いたのを見て、春はそこまで近づいているのだなと感じます。きっと二か

四季雑感



最近、勝浦市、香取市、いすみ市といった小中学校から出前授業の依頼が増えています。特に人気なのは、生徒たちが自分で操作できる二足歩行ロボットの体験です。

本学の総合工学会の学生たちが持参する本格的なロボットを使って、ペットボトルを倒す実践

月もしないうちに桜がいつ咲くのかと多くの人の心を惑わす季節になることでしょう。

4年生の卒業研究展示会が終わり、大学院生の修士論文発表会も終わりほっと一息で、3月には卒業式です。本学を卒業して、デザイン科学科の教員に着任し3年が経ちました。

では故障のリスクも高まります。そのため、特に夏場は操縦体験を行うことが難しく、出前授業は冬に集中しています。

デザイン科学科 西田 絢子

来年ロボット技術研究センター 先川原 正浩

つ、焼きたてのパンの芳醇な香りに包まれ、一石二鳥の幸せな時間となる。